



S-mile 通信

令和7年11月15日発行 第93号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1

大事なことは
教わるんじゃ
なくて
自分で見つけて
気付くもんなのね

はままつ2025かいご探検隊

11月1日(土)午後、グリーンヒルズ東山で浜松市主催の「はままつ2025かいご探検隊」のイベントが行われました。この企画は市内の小中学生に、介護施設の謎解きミッションをクリアしながらゲーム感覚で施設内を探検してもらおうという内容です。浜松市から受託を受けた(株)東海シグマが、イベント受け入れに選ばれた他法人を含む4施設のプロデュースを行い、当日は子供たち7名に保護者を合わせた13名が参加しました。



開始と共に、子供達は入居者へのインタビュー、リフターの乗降やリハビリ機器の実施体験、眠りスキンの操作、また施設内のピクトグラムや“当り”カプセルの検索ゲーム、また庭にいるヤギのえさやりなどを行いました。他施設にはない慶成会オリジナルのミッションを数多く用意したことで、子供たちは楽しみながら各種の体験を行い、介護施設について理解することができました。

参加者の中には高齢者施設に来たのが初めてという方も見えましたが、実際に施設内を体感したことでそれまで抱いていた介護施設のイメージに大きな変化があったようです。施設の印象は快適で明るく、IT化に向けて介護機器の整備を進め、働きやすい環境を目指していることに気づいていただきました。



関係職員の方、またお手伝いをいただいた学生の皆様におかれましては、探検の雰囲気を楽しく盛り上げていただき、ご協力ありがとうございました。



樹木希林のことは

有名な女優の樹木希林は、亡くなる直前までドラマや映画など多数の作品に出演していました。本人は生前、人生の洞察や哲学に通じる数多くの名言を残しています。人生において、また仕事においても何かヒントがありそうです。

『過去は悔やまず、そこからどう生きるかを考える』

自分が出演した過去の作品は殆ど見返すことなく、台本も残していなかったそうです。過去の作品は「もう終わったこと」であり、「(作品の出来や評価が) ダメなら駄目で、一喜一憂することはない」と言います。過去を悔やむのではなく、起きたことの原因はすべて自分にあると考え、そこからどうするかを考えます。



『マイナスも見方を変えればプラスにできる』

年齢を重ね白髪や入れ歯になることは女優としてマイナスに転じていくイメージがありますが、樹木希林はその現実を「女優としての資産だ」と捉えていたそうです。ある映画で入れ歯を外して洗うシーンを演じたそうですが、本人は「リアルな演技ができた」とあっけらかんとしていたそうです。



白髪や入れ歯といった老化現象を、ポジティブに演技へ活かすというプラス思考が素晴らしいです。

『他人も自分も、あるがままに受け入れる』

仕事に限らず世の中には一人で成立する物事は少なく、その殆どが人との関係から成り立っています。

時に関係が厄介になることもありますが「ああそうなんだ、この人はこういう性格なんだと思い、どうこうしようと思わない。」「我慢や無理はしていない」と言い切っています。人生を極めた対人関係の考え方です。

引用：一切なりゆき 樹木希林のことは

実務者研修が修了しました

4 月に開講した介護福祉士実務者研修は、10 月の医療的ケア演習を最後に全ての研修課程が修了しました。8 名の受講生の中で、慶成会の職員は 4 名でした。皆さん半年の間、自宅学習を行いながら課題を提出し、8 回全てのスクーリングに参加してきました。

既に介護の仕事をしている皆さんですが、今回の研修に参加したことで改めて介護の理論や考え方について、深く理解することができました。また、実践的な介護技法を学べたことは大変参考となり、今後の仕事にすぐ活かせると感じています。

仲間と共に学び情報を共有しながらお互いに良い刺激を受けた研修ですが、今後は年明けの介護福祉士国家試験に向けそれぞれ孤独な闘いが始まります。

是非とも、8 名の皆さんが合格を手にするのを心より祈念しております。



ミャンマー地震の義援金

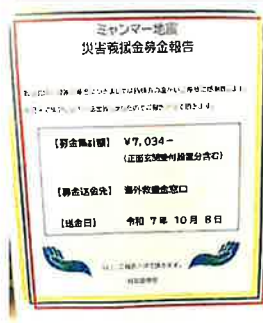
今年 3 月に発生したミャンマー地震ですが、皆様からいただいた義援金を 9 月末で集計させていただき、総額 7,034 円を日本赤十字社へ送金致しました。

半年以上が経過しましたが、現地では今も倒壊した建物のがれきが積み上がりあまり復興は進んでいなく、小さな子供やお年寄りの方は体力面が心配です。

慶成会のミャンマー人職員の皆様におかれましては、もしもご親戚や知人など被災された方がいらっしゃいましたら、無事に過ごされていることを願うばかりです。

日本では南海トラフ地震発生の可能性が高まっていますが、日頃から強く防災意識を持ち、油断をせずできる限りの準備を進めていく必要があります。

今回寄付をいただいた職員の皆様におかれましては、ご協力ありがとうございました。



苦情・クレーム研修

12 月 22 日(月) 14 時より、地域交流室において苦情クレーム研修を行います。法人では年 2 回苦情解決委員会を開催し、現場で起きた苦情内容について情報の共有を図っています。今回は第三者委員の斯波様に講義を進めていただきますが、事前に職員の皆様より苦情対応についての質問をいただき、当日講義の中で回答を交え、苦情の捉え方や対応方法について話をいただく予定です。

現場で起こる苦情についての悩みや不安、また過去の成功例や失敗事例などどのような内容でも結構ですので、多くのご質問を研修センターまでお寄せ下さい。

参加ご希望の方は、12 月 17 日(水)までに下記へお名前をご入力下さい。

L ドライブ — 17.研修センター — 苦情研修フォルダ

皆で苦情について考えてみませんか。多くの方の参加をお待ちしております。



給与明細の電子化

既に X' sion でご案内していますが、R7 年 12 月より職員の皆様には給与明細の配布がなくなり、WEB 上で確認をいただくようお願いしております。11 月の給与明細と共に配布された「WEB 給与明細初回ログインのお願い」の手順に従い、各自で手続きをお願い致します。

一方、毎月発行している「S-mile 通信」については、引き続き直接皆様のお手元へ配布をさせていただきます。世の中のデジタル化が進む中で PC やタブレット、スマートフォンの役割はとて大きく生活環境になくてはならないツールですが、介護や保育の仕事においてもそれらの使用は必須となっています。多くの事務処理や映像作成、ネットでの注文やオンラインでの打ち合わせなど、デジタル機器がなければ効率は遠のき、業務においても多くの支障をきたしてしまいます。

慶成会には様々な年齢層の職員が働いていますが、中には IT 機器を苦手とする方も見受けられます。

デジタル化を前向きに捉え、時代の流れに乗り遅れないよう常に情報を追いかけて学んでいく姿勢が求められます。これからも様々な IT 情報機器を使いながら、上手に活かしていけるよう皆で成長して参りましょう。

